

社会科（歴史的分野）学習指導案

日 時	平成25年11月29日（金）第2校時
場 所	宇城市立不知火中学校 多目的室
年 組	宇城市立豊野中学校 2年1組 男子17名・女子13名 計30名
指導者	宇城市立豊野中学校 教諭 河野好美

1 単元名 「明治近代国家の成立 ～岩倉使節団の果たした役割～」 (東京書籍P146～159)

2 単元について

(1) 単元観

明治維新は、近代日本の基礎を形づくった改革だと言える。その改革のスローガンは「富国強兵」である。政府は経済を発展させるために、殖産興業を推し進め、発展した経済力で軍隊を強くするという目標を立てていたのである。

しかし、実際にどのような国づくりをすべきか、明確に設計図を描けている人は誰もいなかった。江戸時代末期から、『西洋に学ばなければいけない』という思想は日本にあったと思われるが、実際にどの国の、どんなしくみを取り入れるべきか、具体的に示せる人はいなかったと思われる。そこで、提案されたのが米欧回覧（岩倉使節団）であった。廃藩置県という大改革をなしたあとすぐに、政府の重要人物の大半が参加し世界を視察するという、我が国の歴史的にも他国にも類を見ない取り組みを行ったのは、きっと新しい国家の青写真を描くために、早急に必要なことだったからではないかと思われる。明治近代国家の成立は、岩倉使節団なしでは成し遂げられなかったと考える。

岩倉使節団の目的の一つには、欧米諸国との不平等条約改正の予備交渉があった。ところが使節団は、勇み足でアメリカを相手に本交渉を開始してしまう。この交渉は、日本に近代的な法整備が整っていないことや文明が欧米諸国に追いついていないことなどを理由にされ、決裂してしまう。そこで、もう一つの目的である欧米列強諸国の文明探索に重きをおいて欧米回覧を進めていくことになった。使節団は、欧米から教育のしくみや、政治や法律のあり方、産業のしくみなどを学び、それを日本の国づくりに取り入れ、様々な改革を進めていく。

教育制度の改善、政治制度の改革と並行して、鉄道・電信・水道・道路などのインフラ整備、鉱山の開発、工場の設立など、現代でいう公共事業を推進し、失業対策も同時に行っていた。明治末には、ほぼ全国のインフラ整備は完了していたという。これらの政策の中心になったのは、欧米回覧から帰国した大久保利通であった。

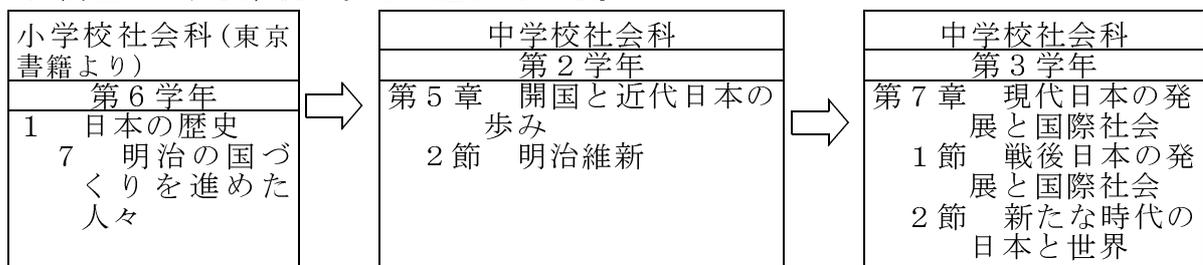
大久保利通が暗殺されたのちは、伊藤博文がその思想を引き継ぎ、国のあり方を示すために奔走する。米欧回覧で、世界各国を見てきた大久保・伊藤らは、ドイツの状況が日本と似ていることを悟った。宰相ビスマルクと名将モルトケの話聞き、大いに感銘を受けた。「万国公法というのは、大国が利を争う場合、もし自国に利ありと

見れば公法を固執するが、いったん不利となれば、一転、兵威をもってするのである。だから公法は常にこれを守らなければならないというものではないのだ」という世界の帝国主義の論理を学んだ。西郷隆盛のいう「慈悲をもって他国を諭す」という論理では世界に通用しないことを実感したのである。結果的に、伊藤の手によって大日本帝国憲法が制定され、内閣制度が整えられたことで、日本は近代国家となり得た。このような殖産興業や憲法制定、議会制度の確立などが、諸外国から認められて、不平等条約改正が実現したのである。だから、近代国家の成立は岩倉使節団なしでは成し遂げられなかった。

変化の激しい明治時代の始まりを学ぶ単元であり、事象と人物が激しく交錯するが、近代国家の成立という被写体を、岩倉使節団というレンズで見ていくことで、子どもたちが明治時代の大まかな流れを獲得し、変革を成し遂げた人々の思いに触れることができる。そのため、変化の激しい現代社会に対応していく力を子どもたちに身につけさせるのに適した単元である。

(2) 系統観

本単元における系統は以下の通りである。



(3) 生徒観

本学級の生徒は、全体的に授業態度は良好で、おとなしい雰囲気クラスである。社会の学力テスト全国偏差値は、51.2と水準にほぼ等しい。男子50.5、女子52.2であり、発言は女子の方が積極的に行う傾向がある。全国偏差値40未満の生徒が4人おり、全体の約13%を占める。そのため、クラス全体の指導のなかで、日ごろから基礎基本を繰り返し指導していく必要がある。

また、配慮を要する生徒として、集中力が長く続かない生徒が4名いる。教師の話が長くなればなるほど、顔が下を向いてしまいがちである。教科書の交代読みや友達同士の話し合いはできる。また、学校には登校できるが、授業に入りきれない生徒が1名いる。

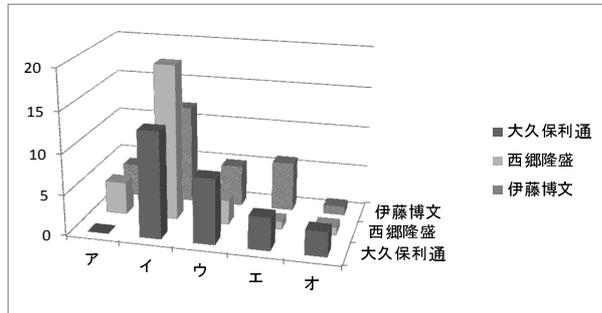
本単元に関わる生徒の実態を、以下のアンケートにより把握した。

- | |
|---|
| 1 あなたは「大久保利通」について、どれくらい知っていますか？
どれか一つに○を付けて下さい。
ア 何をした人か、大まかに説明できる。
イ 説明はできないが、名前は覚えている。
ウ 今、見て、『そんな人、いたなあ』と思い出した。
エ 全く記憶にない。
オ 読み方がわからない。
2 1でアと答えた人は、知っていることを説明してください。 |
|---|

大久保利通・西郷隆盛・伊藤博文の3名について、同じ質問をした。いずれも取り上げて指導すべき人物として小学校学習指導要領に載っている重要人物である。結果

は、以下の通りである。(下の棒グラフは3名についてのア～オを統計したもの)

○大久保利通	ア 0名	イ 13名	ウ 8名	エ 4名	オ 3名
○西郷隆盛	ア 4名	イ 19名	ウ 3名	エ 1名	オ 1名
○伊藤博文	ア 4名	イ 12名	ウ 5名	エ 6名	オ 1名



- ◆大久保利通について知っていること
 - ・記述なし
- ◆西郷隆盛について知っていること
 - ・西南戦争のリーダー
- ◆伊藤博文について知っていること
 - ・日本の初代総理大臣
 - ・憲法の人

アンケート結果から、生徒は歴史の重要人物の名前はおよそ覚えているが、その人物について説明できる生徒は少ない。

説明できる生徒でも、簡単な知識を1行ほど書く程度であり、歴史的な意義や功績などを具体的に書ける生徒はいない。

(4) 指導観

- ・先に述べた実態をふまえ、以下の点を中心に指導していきたい。基礎的・基本的事項を定着させるため、授業はじめの時間にワークや小テスト、カルタなどを活用する。
- ・視覚に訴えることで生徒の興味関心を高めるとともに、生徒に時代のイメージを捉えさせやすくするために、プレゼンソフトで教材を作り、視覚的な教材をプロジェクターで提示する。
- ・生徒の断片的な人物についての知識を時代の流れのなかで捉えさせるために、単元を通した学習課題を設定する。
- ・配慮を要する生徒が授業に参画できるようにするために、ペア学習や班学習などの学習形態を工夫し、協同学習をおこなわせる。
- ・生徒が明治初期の国づくりのおおまかな流れを捉えやすくするために、岩倉使節団が見てきたことを中心に据え、明治政府がおこなった諸改革と関連づけて、考えさせるようにする。

3 単元の目標

関心・意欲・態度	明治維新の経緯や改革の内容や人々の思い、人々の生活の変化に対して、関心を高め、意欲的に追究することができる。
思考力・判断力・表現力	新政府の諸改革の特色や憲法の制定、議会制度の確立について多面的・多角的に考察し、公正に判断して適切に表現することができる。
技能	富国強兵・殖産興業政策、文明開化などを通して、人々の生活が大きく変化したことを江戸時代と比較してまとめることができる。
知識・理解	明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解し、その知識を身につけることができる。

4 単元の指導計画及び評価（基準）計画（全8時間、本時8／8）

次	時	学習活動	評価
1	1	<p>「新政府の成立」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新政府の大まかな人と役職，改革を理解する。 ○廃藩置県を行った原因と影響について意欲的に考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新政府ができ，中央集権国家の体制が確立していったこと，廃藩置県の影響を理解することができる。（ワークシート）【知識・理解】
2	1	<p>「岩倉使節団の出発」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○岩倉使節団が海外で見てきた内容を整理し，そのあとの国づくりにあたえた影響について関心をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○岩倉使節団が海外で何を見たか知り，「なぜこのような状況の時期に岩倉使節団は欧米に行ったのか」を考察し，表現できる。（ワークシート）【思考・判断・表現】
<p>単元を通した課題：なぜこのような状況の時期に，岩倉使節団は欧米に行ったのか？</p>			
3	1	<p>「三大改革」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○留守政府により，どのような改革が進められたのか，留守組のメンバーとともに把握する。 ○改革により，人々の生活がどう変化したか資料から読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○富国強兵政策の内容を理解し，その影響について考えることができる。（ワークシート）【思考・判断・表現】
4	1	<p>「世界とつながる日本と文明開化」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文明開化のイラストから，明治になって何が新しくなったかを話し合う。 ○岩倉使節団が影響を与えたものを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料から，明治になって新しくなったものを読み取ることができる。（ワークシート）【技能】 ○岩倉使節団が殖産興業において，影響を与えたものを理解することができる。（ワークシート・テスト）【知識・理解】
5	1	<p>「国境の画定」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○征韓論により，外遊組（岩倉使節団）と留守組が対立し，留守組が政府を去ったことを理解する。 ○各国との条約や国境の画定がどのようになされたのか，資料から読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○明治六年の政変について，外遊組と留守組の思いを比較し，それぞれの思いについて考えることができる。（ワークシート）【思考・判断・表現】【技能】
6	1	<p>「西南戦争・自由民権運動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○留守組が西南戦争や自由民権運動の中心になったことや西南戦争，自由民権運動の概要を把握する。 ○大久保利通の死後，大隈重信が政府を去り，国会開設までの過程を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○西郷隆盛が西南戦争を，板垣退助らが自由民権運動を起こしたこと，国会開設までの流れなどを理解できる。（ワークシート）【知識・理解】
7	1	<p>「立憲国家の成立」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○伊藤の留学により，大日本帝国憲法が制定された過程を理解する。 ○現代の議会制度の基礎が作られたことに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○憲法制定の過程，選挙制度，憲法の制定によって近代国家の基礎が整えられたことを理解できる。（ワークシート）【知識・理解】
8	1 本時	<p>「明治維新の意義」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○明治維新の歴史的意義について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本がおかれていた国内の事情や外国との関係を捉えて，明治維新の役割や意義が表現できる。（ワークシート）【思考・判断・表現】

5 本時の学習

(1) 本時の目標

明治維新が近代国家の形成に果たした役割や意義について、時代の状況を考えて表現できる。

(2) 本時の展開

過程	時間	主な学習活動	学習形態	教師の指導 (予想される生徒の反応)	教材 資料等
導入	3分	1 岩倉使節団を年表で振り返る。	一斉	○使節団の出発した時期は、内乱と外国からの圧力が重なっていることに着目させる。	プロジェクター PC
展開 1	12分	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">なぜ内乱が起きているような重要な時期に、欧米に行ったのだろうか？</div> 2 なぜこの時期に行ったのかを考え、書く。 3 自分の書いた意見を発表する。 4 当時の為政者の思いを知る。	個人 ペア 一斉 一斉	○これまでの学習を通して岩倉使節団が国づくりの重要な時期に必要な理由を考えさせる。 ○書けた生徒に発表させる。 〈予想される生徒の反応〉 ・欧米の教育制度を取り入れて、新しい国づくりをしたかったから。 ・このままでは国づくりができず、日本が植民地になってしまうと思ったから。 ・日米修好通商条約の改正交渉の時期が重なっていたから。 ○教師が生徒の意見を集約し、板書する。 【板書】 「欧米の進んだ文明や制度を学んで、日本に取り入れるために欧米回覧に出かけた。急いで行かなければ、不平等条約の改正はできず、日本は植民地になるから。」など	ワークシート 評価①
展開 2	5分	5 岩倉使節団を含む明治政府が成し遂げた改革に対する庶民の思いを知る。	一斉	○明治政府が行った改革に対する当時の庶民の思いを、紹介する。 例：鉄道建設による立ち退きに対する反対、学制・徴兵令に対する反対、憲法に対する無理解、女性民権家の動きなど。	プロジェクター PC

	20分	なぜ、庶民の反発を受けたのに、改革をやり通したのか？			
		<p>6 明治維新の役割や意義について、当時の時代背景をおさえて考える。</p> <p>7 班の意見を発表する。</p>	<p>個別ペア班</p> <p>一斉</p>	<p>○書けない生徒を参加させるために、ペアや班で話し合い、班員の意見を反映させて、小白板に書かせる。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、改革をしなければ、条約改正に間に合わないから。 ・欧米を見てきて、すぐに殖産興業を進めないと、日本が植民地化されてしまうから。 ・ずっと先を考えれば、国民は理解してくれると思ったから。など <p>○クラス全体で意見を共有するために、班で練り上げた意見を発表させる。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、改革をしなければ、条約改正に間に合わず、進んだ欧米の教育や産業などを見て、とうてい敵わないと判断したので、反発覚悟で改革を推し進めた。など 	<p>ワークシート</p> <p>小白板</p>
まとめ	10分	<p>8 明治政府で中心的な役割を果たした大久保利通の言葉やその後の歴史を聞き、手紙を書く。</p>	<p>一斉</p>	<p>○大久保利通が出した『立憲政体に関する意見書』やその後の日清戦争、日露戦争、自然科学の発達、教育の発達などの実態を紹介する。</p>	<p>評価②</p> <p>ワークシート</p> <p>PC</p> <p>プロジェクター</p>

(3) 本時の評価

場面	評価基準
評価① 評価②	<p>A：日本がおかれていた国内の事情、外国との関係を捉えた上で、未来を見据えて明治維新の役割や意義が表現できる。</p> <p>B：日本がおかれていた国内の事情、外国との関係を捉えて、明治維新の役割や意義が表現できる。</p>